

V章 調査研究・学会発表実績

1 東部保健所

平成26年度

種 別	番号	著者名(発表者名) 全員の氏名(記載順)	題目・論旨(担当課名)
第60回 大分県 公衆衛生 学会	1	○ 麻生 花苗 若松 正人 都甲 伊知郎 工藤 剛 安達 国良	<p>題目：ちょっと受けたいくすりの授業プロジェクト</p> <p>論旨：平成25年度、当保健所では、「医薬品の適正使用」及び「薬物乱用防止」を「薬育」と定義し、薬育プログラムを完成させた。今年度は、その薬育プログラムを基に、教育現場で活用しやすい教材の作成と薬育を進めるための人材育成に取り組み、「薬育」支援体制を構築した。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>
	2	○ 安達 悦子 酒井 愛弓 武中 祥子 津田 克彦 藤本 紀代美 安達 国良	<p>題目：学生食育推進ボランティア(Food Education Supporter)の活動について(第2報)</p> <p>論旨：「第2期大分県食育推進計画」における課題の1つである「大学生の朝食摂取率の向上」を達成するため、H25年度から学生食育推進ボランティア(フードエデュケーションサポーター:FES)の養成と活動を行っている。これまでの2年間の取り組みとFES自身の変化について報告した。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>
	3	○ 吉田 陽子 吉原 喬樹 池田 裕美 藤本 紀代美 安達 国良	<p>題目：精神障がい者地域移行支援における保健所の役割～個別事例から地域課題、そして事業への展開～</p> <p>論旨：精神障がい者の個別事例から管内の地域課題を明確にして事業を発展させることにより、精神障がい者地域移行に一定の成果があった。このような取組から精神障がい者の地域移行支援における保健所の役割を考察した。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>
	4	○ 池田 裕美 市原 恭子 藤本 紀代美 安達 国良	<p>題目：麻しん対策の課題～保育園における麻しん発生事例をとおして～</p> <p>論旨：事例対応の検証から、ワクチン接種の重要性、保育園施設管理者の平常時からの健康危機管理意識の重要性、平常時からの麻しん診療体制の確保、正確な情報の困難さ等明らかになった課題について報告した。</p> <p style="text-align: right;">(地域保健課)</p>

種 別	番号	著者名(発表者名) 全員の氏名(記載順)	題目・論旨(担当課名)
第60回 大分県 公衆衛生 学会	5	○ 安部 千晶 池田 裕美 藤本 紀代美 安達 国良	題目：重症難病患者の在宅療養における保健所保健師の 役割 ～独居で24時間サービス利用患者の支援 をとおして～ 論旨：独居のため一日中多くの事業所のサービスを利用 しながら療養生活を送るケースに対して、支援計 画に組み込まれるようなサービスを提供しない保 健所保健師としての役割と学びを報告した。 (地域保健課)
平成26年度 食品衛生監 視員・と畜 検査員・狂 犬病予防員 研究発表	6	○ 廣田 梓 小池 明仁 若松 正人 都甲 伊知郎 工藤 剛	題目：手洗い男子・手洗い女子育成事業 ～学生を活用した手洗い事業の一考察～ 論旨：小学生以下の子供及び将来保育園や幼稚園の先生 になる学生を対象に、手洗い講習会を行い、管内 の希望する保育園及び幼稚園に出向き、子ども達 を対象にした「手洗い教室」を実施。それにむけ ての紙芝居劇(ペープサート)やエプロンシアタ ーを手洗い男子・手洗い女子として任命した学生 とともに作成。「手洗い教室」は、合計400名以上 の参加。 (衛生課)
	7	○ 渡邊 由美子 都甲 伊知郎 若松 正人	題目：旅館・ホテル関係者との自主的衛生管理の協働推進 について～旅人を安全に～ 論旨：自主点検による「作業の見える化」、トップセミ ナーによる「目標の見える化」及び衛生タイムズ による「情報の見える化」の3つの見える化を実 施し、これを継続することで、旅館・ホテルそれ ぞれが今より一歩進んだ自主的衛生管理を行う制 度を構築した。 (衛生課)
	8	○ 小池 明仁 廣田 梓 小池 明仁 若松 正人 都甲 伊知郎 工藤 剛	題目：ちりめん製品の流通管理の推進について 論旨：全国的に異物混入事例が相次いで報告される中、 豊後別府湾ちりめん加工組合の協力を得て、フグ 等の混入防止対策について実態調査や指導を実施。 また、ちりめん製造工程で除去されたフグ稚魚の 毒力測定を行った。 (衛生課)
	9	○ 麻生 花苗 廣田 梓 小池 明仁 若松 正人 都甲 伊知郎 工藤 剛	題目：「殻付かき焼き」安全&味力アップに向けた取組 論旨：かき焼き施設と行政機関が連携して、地域資源と してのかきを安全かつ美味しく食べるための取組 を開始し、かき焼きのアウトラインを作成した。 (衛生課)

種 別	番号	著者名(発表者名) 全員の氏名(記載順)	題目・論旨(担当課名)
平成26年度 環境関係 業務事例 発表会	10	○ 武田 亮	<p>題目：土壌汚染対策法第3条に基づく土壌汚染状況調査について</p> <p>論旨：管内の工場の生産終了に伴い、土壌汚染対策法第3条に基づく土壌汚染状況調査の報告がなされた事例について、経過及び対応等の内容をまとめ、土壌汚染状況調査において留意すべきこと等の考察を行った。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>
	11	○ 久保崎 範行	<p>題目：環境教育アドバイザー制度の積極的推進</p> <p>論旨：大分県では、地域や学校等で開催される、環境をテーマとした講演会や自然観察会などにおける講師として「環境教育アドバイザー」を派遣している。今年度は、学校や公民館等へ直接職員が訪問し本制度について説明することで、活用者側の理解が深まり、派遣件数の増加に結び付けることが出来た。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>
平成26年度 大分県保健 所調査研究 事業	12	○ 渡邊 由美子 都甲 伊知郎 若松 正人	<p>題目：旅館・ホテル関係者との自主的衛生管理の協働推進について～旅人を安全に～</p> <p>論旨：自主点検による「作業の見える化」、トップセミナーによる「目標の見える化」及び衛生タイムズによる「情報の見える化」の3つの見える化を実施し、これを継続することで、旅館・ホテルそれぞれが今より一歩進んだ自主的衛生管理を行う制度を構築した。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>

2 国東保健部

平成26年度

種 別	番 号	著者名(発表者名) 全員の氏名(記載順)	題目・論旨(担当課名)
第60回 大分県 公衆衛生 学会	1	○ 中崎 百有子 鳴海 有紀子 佐田 美貴江 安東 秀子	題目：感染症自主管理体制推進に向けた取り組みの評価 論旨：当保健部で行ってきた管内高齢者入所施設に対する感染症自主管理体制推進に向けた取組について、過去6年間の取組全体の評価、課題の抽出、今後の支援方法について検討し、一定の効果があつたと結果が得られた。 (地域保健課)
平成26年度 食品衛生監 視員・と畜 検査員・狂 犬病予防員 研究発表	2	○ 國政 陽子 林 徹 中田 高史	題目：『うんち旗、ありがとう旗』を活用した適正飼育の啓発について ～動物ふれあい教室・マナーアップ編～ 論旨：身の回りの環境や他人への配慮について関心を持ってもらい、環境美化及び犬・猫などの動物の適正飼育を身につけられるように、小学生を対象とした進化型『うんち旗』作成のワークショップを実施した。 (健康安全・衛生課)
	3	○ 國政 陽子 林 徹 中田 高史	題目：『わくわくワークシート・わんわんワークシート』を活用した動物終生飼養の啓発について ～動物ふれあい教室・キャリアデザイン編～ 論旨：動物が苦手な子どもやアレルギーのために動物をさわることができない子どもにも、『動物と一緒にいると楽しい』と思えるような、動物を伴わない動物ふれあい教室のプログラムを作成することを目標に、キャリアデザインの考えを取り入れ、動物や自分の生涯について考えさせ、終生飼養の難しさや重要性、また自分が大人になることへの憧れや将来への夢とつなげていくことを目的とした、啓発プログラムを作成した。 (健康安全・衛生課)
平成26年度 看護研究学 会	4	○ 中崎 百有子 鳴海 有紀子 佐田 美貴江 安東 秀子	題目：感染症自主管理体制推進の経過と評価 論旨：当保健部では平成21年度より、管内高齢者入所施設に対して、感染症自主管理体制を推進させるための取組を行ってきた。今回、取組の中で作成した評価指標を用いて、過去6年間の取組全体の評価、課題の抽出、今後の支援について検討した結果を、医療従事者に向けて報告した。 (地域保健課)